

平成30年第2回青森市議会定例会提出

請 願 文 書 表

受理 番号	受 理 年月日	件 名	請 願 者 の 住 所 ・ 氏 名	紹 介 議 員	付 託 委 員 会
1	H30.6.7	子どもの遊び場づくりに関する 請願	青森市大字矢田前字浅井26-28 青森市にこどものあそびばをつくる会 代表 川名 裕美	秋村 光男	民生環境 (常)

子どもの遊び場づくりに関する請願

平成30年6月7日

青森市議会議長 里村 誠悦 様

青森市矢田前浅井 26-28

青森市にこどものあそびばをつくる会

代表 川名 裕美

紹介議員 秋村 光男

(請願の趣旨)

子どもにとって、遊びは「食べること」や「寝ること」と同じように生きることそのものである。子どもは遊ぶことでたくさんのことを学び、成長し、心を豊かにする。子どもたちには遊びを通して体も心も解放し、五感を駆使して体いっぱい遊ぶ場が必要であると同時に、子どもの健全な成長において、個々の発達段階に応じた遊びを自発的かつ安全に楽しめる場は必要不可欠である。近年、体を使い自由に遊ぶことができる環境の少ない子どもたちの中で、ロコモティブシンドロームや肥満が多く見られていることは深刻な問題として不安視されている。

現在、青森市には公園や緑地、緑道が整備されているが、屋外は天候によって遊びが制限され、事故や犯罪等に巻き込まれる懸念がある。また、「トイレがない」「冬は利用できない」など、子どもや親子連れの利用者にとって大変不便である。さらに、入場無料の屋内公共施設であるさんぽぽやアピオあおもりのプレイルームは年齢制限があり、未就学児と小学生以上の年齢幅のあるきょうだいは一緒に遊ぶことができない。そして、児童館はできる遊びが制限され、日曜日は開館していない。

子育て世帯の市民からは、「青森市はお金をかけずに安全・安心に遊ぶ場所が非常に少ない」「他の市町村まで遊びに連れていっている」「きょうだいで一緒に遊ばせられない」「冬場は特に遊びに行くところがなく困る」「結局室内でゲームになってしまう」という多くの声が上がっている。

子どもたちが無料で安心して自由かつ自発的に遊べる遊び場を確保していくことは、地域に住む私たち大人にとって重大な責任である。

「青森市にこどもの遊び場を！」の声は、「一年中遊べる、年齢制限のない遊び場を青森市につくってください」「遊びをリードする見守りスタッフとして、プレーリーダーが常駐する遊び場をつくってください」という2万筆を超える署名となり、ことし3月15日に青森市長に提出した。青森市長には快く受けとめていただき感謝している。

なお、署名は6月7日現在、2万3945筆となっている。

子どもたちが天候や季節に左右されることなく、笑顔と笑い声があふれ、楽しく安心して過ごせる遊び場をつくるために次のとおり請願する。

(請願事項)

青森市の各地域において、子どもたちが天候や季節に左右されることなく気軽に簡単に行くことができ、しかも多様な遊び方ができるスペースや機能を確保し、その運営等に当たっては、子どもたちが生き生きと遊べるよう、地域の団体や住民等の力を生かして、子どもたちを見守っていくような体制を築くこと。